



平成 17 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アオキインターナショナル
代表者名 代表取締役社長 青 木 拓 憲
(コード番号 8214 東証・大証第一部)
問合せ先 専務取締役 中 村 憲 侍
(TEL . 045 - 941 - 4888)

当社子会社（株式会社ヴァリック）の営業の一部譲受けに 関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社ヴァリックは、営業の一部譲受けについて別添資料のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

以 上



平成 17 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴァリック
代表者名 代表取締役社長 中村 宏明
(J A S D A Q ・ コード : 2 3 8 7)
問合せ先 常 務 取 締 役 菅 谷 信 一
電 話 0 4 5 - 5 9 0 - 4 8 8 8

営業の一部譲受けに関するお知らせ

当社は、平成 17 年 7 月 14 日開催の取締役会において、平成 17 年 9 月 1 日をもってゼビオ株式会社のメディア事業のうちカラオケ及び複合カフェに関する営業の譲受けを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業譲受けの理由

当社は、カラオケルーム等の娯楽施設の運営を主な事業とする会社であり、平成 15 年 12 月のジャスダック市場への上場後、東北・関東・北陸・甲信越・中京・関西地域へのカラオケ店舗の新規出店を積極的に実施してまいりました。また、時間消費型ビジネス運営企業として今後一層の業容の拡大を図るべく、平成 17 年 10 月 1 日には、株式会社アオキインターナショナルより複合カフェ事業の譲受けを予定いたしましたしております。

この度、スポーツ用品等の販売を基幹事業として運営しているゼビオ株式会社より、東北地区を中心に展開しておりますメディア事業のうちカラオケ店舗及び複合カフェ店舗を譲受けることとなりました。

当社は、当該営業譲受けにより、カラオケ店舗の東北地区でのドミナント化の促進が図れるものと考えております。また、複合カフェについては、予定しております株式会社アオキインターナショナルよりの複合カフェ事業の譲受けと合わせ、当社内における第 2 の事業として成長させてまいりたいと考えております。

今後、店舗数の拡大にともなうスケールメリットの追求や運営ノウハウの共有により更なる収益性の向上を図ってまいります。

2. 営業譲受けの内容

(1) 譲受け部門の内容

カラオケ店 7 店舗 複合カフェ 2 店舗 計 9 店舗

(2) 譲受け部門の経営成績

	平成 16 年 3 月期	平成 17 年 3 月期
売 上 高	627 百万円	638 百万円
売 上 総 利 益	513 百万円	531 百万円
営 業 利 益	33 百万円	50 百万円
期 末 店 舗 数	9 店舗	9 店舗

(3) 譲受け部門の資産、負債の金額

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
固定資産	498 百万円		
合 計	498 百万円	合 計	

(4) 譲受け価額および決済方法

今後両社間で詳細を協議のうえ決定いたします。

3. ゼビオ株式会社の概要

- (1) 名称 ゼビオ株式会社
- (2) 主な事業内容 スポーツ用品・用具及び衣料の販売
- (3) 設立年月日 昭和48年7月5日
- (4) 本店所在地 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
- (5) 代表者 代表取締役社長 諸橋友良
- (6) 資本の額 159億35百万円
- (7) 従業員数 586名(2005年3月31日現在)
- (8) 大株主構成および持株比率(2005年3月31日現在)
- | | |
|----------------------|--------|
| 有限会社サンビック | 17.22% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 10.53% |
| 財団法人諸橋近代美術館 | 9.39% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 8.92% |
| 有限会社ティー・ティー・シー | 8.60% |
- (9) 当社との関係
- | | |
|------|-----------------|
| 資本関係 | 当社株主(持株比率0.50%) |
| 人的関係 | なし |
| 取引関係 | なし |

4. 日程

- 平成17年7月14日 取締役会決議
- 平成17年7月14日 営業譲受け基本合意書調印
- 平成17年7月29日 営業譲受け契約締結
- 平成17年9月1日 営業譲受け期日(予定)

5. 今後の見通し

当該営業譲受けによる2006年3月期決算への影響は、売上高・利益ともに業績への寄与が見込まれますが、現在精査中であり、今後作成する経営計画により、適切な時期において発表する予定であります。

以 上